

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

7012

小学校第6学年
算数A 解答用紙

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

1	(1)	1				
	(2)	$\begin{array}{ccccccc} 2.1 & \div & 0.7 & = & \text{㊦} & 3 \\ \downarrow 10 \text{ をかける} & & \downarrow 10 \text{ をかける} & & & \\ \text{㊦} & 21 & \div & 7 & = & \text{㊦} & 3 \end{array}$				
	(3)	㊦	37	㊦	1.3	㊦

2	(1)	897	(2)	4.95	(3)	20	(4)	$\frac{2}{3}$
---	-----	-----	-----	------	-----	----	-----	---------------

3	(1)	㊦	>	(2)	<	(2)	いちばん小さい数 7	いちばん大きい数 7.1
---	-----	---	---	-----	---	-----	---------------	-----------------

4	式 (例) $14 \div 8$
---	----------------------

5	㊦	6	1	3	4
---	---	---	---	---	---

7	2, 3, 4, 5	8	2
---	------------	---	---

9	(1)	式 (例) $10 + 1 + 19$	答え	30 人
	(2)	㊦	100	㊦

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

※ 各設問の正答の条件，他の解答例などについては，解説資料に記載していますので，採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

2061

小学校第6学年
算数B 解答用紙

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

1	(1)	㊦	8	㊥	10	㊧	80
		㊩	(例) 減った部分の面積は $2 \times 7 = 14$ で， 14cm^2 です。				
	(2)	㊦	(例) 増えた部分の面積は $5 \times 2 = 10$ で， 10cm^2 です。				
		㊧	(例) $14 - 10 = 4$ で，増えた部分の面積のほうが 4cm^2 小さいです。				

2	(1)	式 (例) $12 + 5 \times 3$	答え 27 m
	(2)	式 (例) $8.1 + 0.4 \times 4$	目標のタイム 9.7 秒
	(3)	(例) 0.4や0.3は，ハードル1台あたりに増える時間であると考えられます。	

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学 校 名	組	男女	個 人 番 号 ①	個 人 番 号 ②

※個人番号票を見ながら，1ますに1けたずつ，数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

2062

算数B

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

3	ともみ	はるお	あかね
	(1) 3	1	2
	(例) 厚紙の縦の長さは39cmです。正方形の1辺が9cmだから、 $39 \div 9 = 4$ あまり3で、正方形は縦に4個かくことができます。 正方形は、縦に4個、横に6個かくことができるので、 $4 \times 6 = 24$で、24個かくことができます。		
	(3) 2		

4	(1) 2	(2) 3
	(例) 5月から6月までの「物語」の貸出冊数は、A小学校が約400冊増えていて、B小学校が約300冊増えています。 だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくないです。	

5	(例) 360は、1回転した角の大きさを表しています。 120は、㊷の角の大きさを表しています。 $360 \div 120$は、360°の角の中に、120°の角がいくつ入るかを計算している式です。	
	(2) 3	

《ここから下には解答を書いてはいけません。》